

# 第29回 技術研究発表会

## < 募集要項 >

I 論文

II プロジェクト・技術報告

— 2017年度 —

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議

〒112-0014 東京都文京区関口1-23-6 2F  
(一財)都市みらい推進機構  
Tel : 03-5261-5625 Fax : 03-5261-5629  
e-mail:uit@uit.gr.jp HP:www.uit.gr.jp/

## はじめに

技術研究発表会はアーバンインフラストラクチャーとテクノロジーに関して産業界、学識経験者、都市づくりを実施する行政の皆様による学術と知識の交流を目的とするもので、平成元年より約四半世紀以上にわたり開催してまいりました。この間、アーバンインフラストラクチャーとテクノロジーに関する学術・技術の交流について多くの成果を上げたものと確信しております。

今年度は、2017年11月9日(木)午後、丸ビル8階コンファレンススクエアにおいて第29回技術研究発表会を開催することとなりました。皆様におかれましては奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

技術研究発表会のⅠ論文およびⅡプロジェクト・技術報告の募集要項を掲載いたします。

# I 論文 募集要項

## 1. 目的

アーバンインフラストラクチャーとテクノロジーの開発を行っている民間企業・学識経験者・地方公共団体等の技術研究の成果・事例等を一堂に会して発表し、かつ「技術研究発表論文集」としてホームページで公開することにより、全国の自治体等の都市づくりへの普及・活用を図り、高度で豊かな都市社会の実現に寄与することを目的としています。

## 2. テーマ

近年、IoT、AI、画像処理等情報通信技術が急速に進展しているほか、土木、建築等の分野でも様々な技術革新が生まれています。また、まちづくり手法の分野においても、まちづくり主体の多様化、国際化・強靱化・サステナビリティ対応等ソフト、ハードを含め創意工夫を凝らした試みが各地でなされてきています。これらのイノベーションは、将来の都市のあり方に大きな影響を及ぼすとともに、人口減少、高齢化等に伴う地域の活力の低下等現在日本の都市が抱えている課題の解決やコンパクトシティ+ネットワークの実現につながるものです。このような認識のもと、今回は「テクノロジーがもたらす都市の未来」をテーマとして技術研究発表会を開催します。

## 3. 内容

アーバンインフラストラクチャーとテクノロジーに関する先端的な技術を適用した事例・構想等をわかりやすく平易に表現した論文。

原則として未発表のものとしませんが、後述13に記載したものについては差し支えありません。

\*論文内容は、P4「別紙1：発表内容例示」をご参照下さい。

## 4. 応募資格

一般企業は、原則として当推進会議の会員に限ります。また、学識経験者(大学院生等の研究者も含む)、地方公共団体、その他公的団体は非会員でも応募出来ます。連名により1人で複数の論文を応募することは出来ませんが、発表は1人1回とし、原則として執筆者の方に発表していただきます。

なお、学識経験者や地方公共団体等と民間企業との連名による論文など、産・学・官の共同による研究・事例の発表も歓迎いたします。

## 5. 応募方法

添付の「予約申込書」により予約申込みを行って下さい。(メール)

但し、研究発表論文の提出をもって正式の申込みとします。

当推進会議のホームページ(<http://www.uit.gr.jp>)からでも予約申込書を入手出来ます。

## 6. 提出期限

予約申込：2017年7月 3日(月)

梗概・論文：2017年9月 8日(金)

## 7. 提出及び問合せ先

〒112-0014 東京都文京区関口 1-23-6 プラザ江戸川橋ビル 201号

一般財団法人都市みらい推進機構内 アーバンインフラ・テクノロジー推進会議事務局

TEL:03-5261-5625 FAX:03-5261-5629 E-mail:uit@uit.gr.jp

提出は、審査段階では Word 等でかまいませんが、最終原稿は PDF に変換し、梗概、本文を別ファイルにした電子データを E-mail か CD-ROM 等で提出して下さい。

## 8. 発表セッション

発表セッションについては論文審査委員会にて論文内容を踏まえて3セッション\*に振り分けますので、予めご了承下さい。

\* ;P4「別紙 1:発表内容例示」をご参照ください

## 9. 論文執筆要綱

(1) 原稿は、別紙の執筆要領見本を参考に、パソコンで word 又は一太郎を使用し、本文の文字は明朝体にて黒色で印字して下さい。写真及び図は、なるべく本文の近くに配置して下さい。

文字はA4用紙の枠内(タテ 247 mm×ヨコ 172 mm)に、フォントサイズ 10.5 ポイント、44 字×45 行程度で段数は1段設定として下さい。各ページ下段中央にページを記載して下さい。

(2) 原稿枚数は4頁から6頁の範囲で作成して下さい。

(次項の梗概はページ数に入りません)

(3) 論文には、3つのキーワード及び最大 400 字程度の梗概(A4版半分)を添付して下さい。

(4) 題目は、簡単、かつ、その内容が分かり易いもので、原則として 30 文字以内とします。

(5) 固有の商品名は入れないで下さい。

(6) 採用された論文は、発表会直前にホームページに掲載しますので閲覧できます。

(7) 他人の著作物(図・表を含む)を引用する際は、著作権法第 32 条1項による「適法引用」もしくは著作者の許諾を得るものとし、引用文献を最終ページの下段に引用順に必ず明記して下さい。

引用例示:1. 著者の姓名 2. 著作の表題 3. 発行者 4. 出版年 5. 引用箇所頁数

## 10. 審査

(1) 論文の採否は、当推進会議の技術研究発表委員会のもとに、論文審査委員会を設け審査します。

以下については採用しない場合があります。

- ・ 説明、表現、用語が不適切で内容の分かりにくいもの
- ・ 同一、又は類似の発表がすでに行われているもの

但し、既発表の研究内容を前進させたもの、又は記 13 に記載したものについては差し支えありません

- ・ 内容が商業宣伝に偏ったもの
- ・ その他募集要綱に反するもの、又は当推進会議の意に沿わないもの

(2) 採用された論文は、原則として発表していただきます。なお、論文が多数になる場合は調整させていただくことがあります。

(3) 論文審査委員会

- ・ 委員長 高橋 洋二 東京海洋大学名誉教授
- ・ 審査委員 会員より選出
- ・ アドバイザー 国土交通省都市局担当職員

## 11. 再提出

審査の結果、修正を求めて再提出を依頼する場合があります。その際、改めて指定された提出期限内に再提出されない場合は、不採用となる場合があります。

## 12. 採否の通知

応募論文の採否および発表対象論文の審査結果は、その理由と共に 2017 年 10 月上旬頃迄に申込者宛に通知いたします。

## 13. 既発表のものでも応募出来る範囲

(1) シンポジウム、研究発表会、国際会議等で、講演を主としてその梗概又は資料として発表したもの。

(2) 大学の紀要、研究機関の研究所報等で部内発表したもの。

(3) 国、自治体、業界、団体からの委託研究の成果報告書で、委託者の承諾を得たもの。

(4) 上記に該当する場合は、既発表である旨論文中に明記して下さい。

## 14. 提出原稿の返却

---

審査のために提出された原稿は返却いたしません。

## 15. 研究発表論文集

---

特に作成しません。採用された応募論文（発表を希望しない論文を含む）、梗概は技術研究発表会前にホームページに公開します。どなたでも閲覧、ダウンロードが出来ます。

## 16. 著作権

---

採用された応募論文の著作権は著者に属し、当推進会議は著作者より編集公開の承認を受けたものとします。

## 17. 発表会

---

- (1) 日程・会場 2017年11月9日(木)13時15分～  
丸ビルコンファレンススクエア 8階(東京都千代田区丸の内2丁目4-1)
- (2) スケジュール等 開会の後、セッション別に発表を行います。  
詳細は2017年10月中旬に本人に改めて通知いたします。
- (3) 発表方法
  - ① 発表時間は1題あたり15分以内、質疑応答5分
  - ② マルチメディアプレゼンテーションを使用できますが、発表用資料は見やすいように図、表、写真類の使用、文字の大きさ等を工夫して下さい。  
プロジェクターおよびパソコンは会場に用意します。(パソコンは各自持参可)
  - ③ 印刷物としての論文集は配布しませんので、発表者は当日、聴講者への配布のための論文のコピーを30～50部持参して下さい。(モノクロ・両面コピー可)
  - ④ 動画については事務局へご相談ください。
  - ⑤ 機械操作等で補助が必要な場合は、部屋に係員を配置します。
  - ⑥ ポスターセッションで、論文に関する展示・説明を行うことができますが、事前の申し込みが必要です。  
また、申込者が多数の場合は調整することがあります。
  - ⑦ 類似テーマや内容に関連性がある論文、数編について共通セッションでの発表等を依頼する場合があります。

## 18. 表彰

---

表彰論文は、論文審査委員会において「論文の基本構想、着想、利用技術等において優れているか」、「内容が社会のニーズに合致し、有益と認められるか」、「論理の組立て、表現方法に優れ、説得力があるか」、「独創性があるか」等の観点からの書類審査によりセッションごとに「優秀賞」並びに「奨励賞」が選定され、発表会終了後の閉会式において表彰を行います。表彰者には賞状を贈呈します。

## 19. 費用

---

発表登録料は無料です。

## 20. 継続教育制度(CPD)について

---

本技術研究発表会については、発表者はもとより参加者(聴講者)には、それぞれの時間に応じたCPD単位の取得ができます。

- ・ 日本都市計画学会 都市計画CPD制度
- ・ 土木学会 継続教育CPD制度

## 21. 関西地区での技術研究発表会開催について

---

当推進会議では、2018年2月頃関西地区にて今回優秀論文として表彰された論文を中心に論文発表と技術・情報交流を内容とした技術研究発表会の開催を予定していますのでご参加をお願いします。(交通費等費用は発表者負担)

## 発表内容例示

内容項目	例 示
環境・エネルギー	地球環境対策（CO <sub>2</sub> 排出量、生態系等） 都市のオープンスペース、緑地空間、緑化、ヒートアイランド 大気汚染、水質汚染、土壌汚染対策 道路の沿道環境、工事の騒音・振動対策 上・中・下水道システム、廃棄物処理技術 資源化・減量化技術、リサイクル施設 環境アセスメント、アメニティ 地域冷暖房、都市熱源ネットワーク、新エネルギー活用技術 ゼロエネルギー
情報・防災・交通	都市交通調査、総合交通体系計画 道路、鉄道、港湾、空港の整備・使い方の工夫 バス、新交通システム、LRT、歩行者・自転車空間、自動運転 交通結節点、交通ターミナル、駐車場、バリアフリー 物流システム、交通需要マネジメント（TDM）、社会実験 スマートシティ、ITS、都市GIS、IoT、ビッグデータ、AI、i-Construction 画像処理 安全・安心なまちづくり技術 災害状況把握システム、災害復興計画
都市の再興・まちづくり	都市再生、地域再生 低炭素都市づくり コンパクトなまちづくり、コンパクト+ネットワーク 公的不動産の活用 土地の有効・高度利用、敷地・街区の統合・再編、市街地の縮退 中心市街地の活性化、都心居住、ミックストユース（職住接近） 景観、デザイン、色彩、ユニバーサルデザイン 医療福祉機能とまちづくり 社会資本の老朽化と維持管理・更新 都市の国際競争力の強化、シティセールス、インバウンド対策 観光、オリンピック・パラリンピック エリアマネジメント 官民連携

\* 記載された例示は一部であり、全てではありません

ロボット、センサー、5G(第5世代移動通信システム)等 まちづくりに応用できるさまざまな技術が対象となります

# 執筆要領見本

## 執筆要領

- ・用紙は以下を参考にして下さい。
- ・パソコンで Word 又は一太郎を使用し、黒色で印字して下さい。
- ・A4用紙の枠内で、1行が44字かつ45行に近くなるように、原則としてフォントサイズ10.5程度で打って下さい。
- ・図表、写真類の挿入、或いは貼る場合にも、原稿用紙枠内に入るようにして下さい。
- ・必ず4～6ページの範囲で作成して下さい。(梗概はページ数に含みません。)
- ・題目は、簡単で、しかも内容が分り易いもので、原則30字以内とします。
- ・論文中の番号は、次の順位を基本とします。
  1. (1) ① (a)

## (A)梗概 (A-4サイズ)

題目 (左寄せ) (右寄せ)会社・団体名 研究者名 合計7行以内		
キーワード		
①	②	③
本文 8行 44字/行		

↑ **枠有り**

## (B)本文1頁目の原稿用紙 A-4サイズ

↓ 題目、研究者名の上段のみ枠を入れる

題目(左寄せ) (右寄せ)会社・団体名 研究者名 合計7行以内	
本文 {	44字/行 38行

↑ **本文枠なし**

## (C)本文2頁目以降の原稿用紙 A-4サイズ

本文 44字/行 45行
参考文献：○○○○○ 9.論文執筆要綱(7)参照

↑ **本文枠なし**

## Ⅱ プロジェクト・技術報告 募集要項

### 1. 目的

アーバンインフラストラクチャーとテクノロジーの開発を行っている民間企業・公共団体等の技術研究の成果・プロジェクト等を、論文以外の形式（パワーポイント、ビデオ映像等）で発表する機会を提供することにより、参加者の間で情報、意見の交流を促進し、全国の自治体、民間企業等の技術開発の促進、普及を図ることを目的とします。

### 2. 内容

アーバンインフラストラクチャーとテクノロジーに関する技術開発、先端的な技術を適用した事例、構想等についてパワーポイント、ビデオ映像等と合わせて報告者による説明を行います。発表内容については特に審査等はありません。

### 3. 応募資格

会員団体及び地方公共団体。一般企業は、原則として当推進会議の会員に限ります。

- ・申込が多数の場合は調整させていただくことがあります。
- ・参加費は無料です。

### 4. 応募方法

添付の「プロジェクト・技術報告会予約申込書」により予約申込みを行って下さい。(メール)  
当推進会議のホームページ(<http://www.uit.gr.jp>)からも「プロジェクト・技術報告会予約申込書」を入手出来ます。  
なお、応募内容は既に外部(シンポジウム、講演会等)で発表しているものでも可とします。

### 5. 提出期限

予約申込：2017年7月3日(月)

発表データ：2017年10月中旬

### 6. 提出及び問合先

〒112-0014 東京都文京区関口 1-23-6 プラザ江戸川橋ビル 201号

一般財団法人都市みらい推進機構内

アーバンインフラ・テクノロジー推進会議 事務局 宛

TEL:03-5261-5625 FAX:03-5261-5629 E-mail:uit@uit.gr.jp

### 7. 発表要領

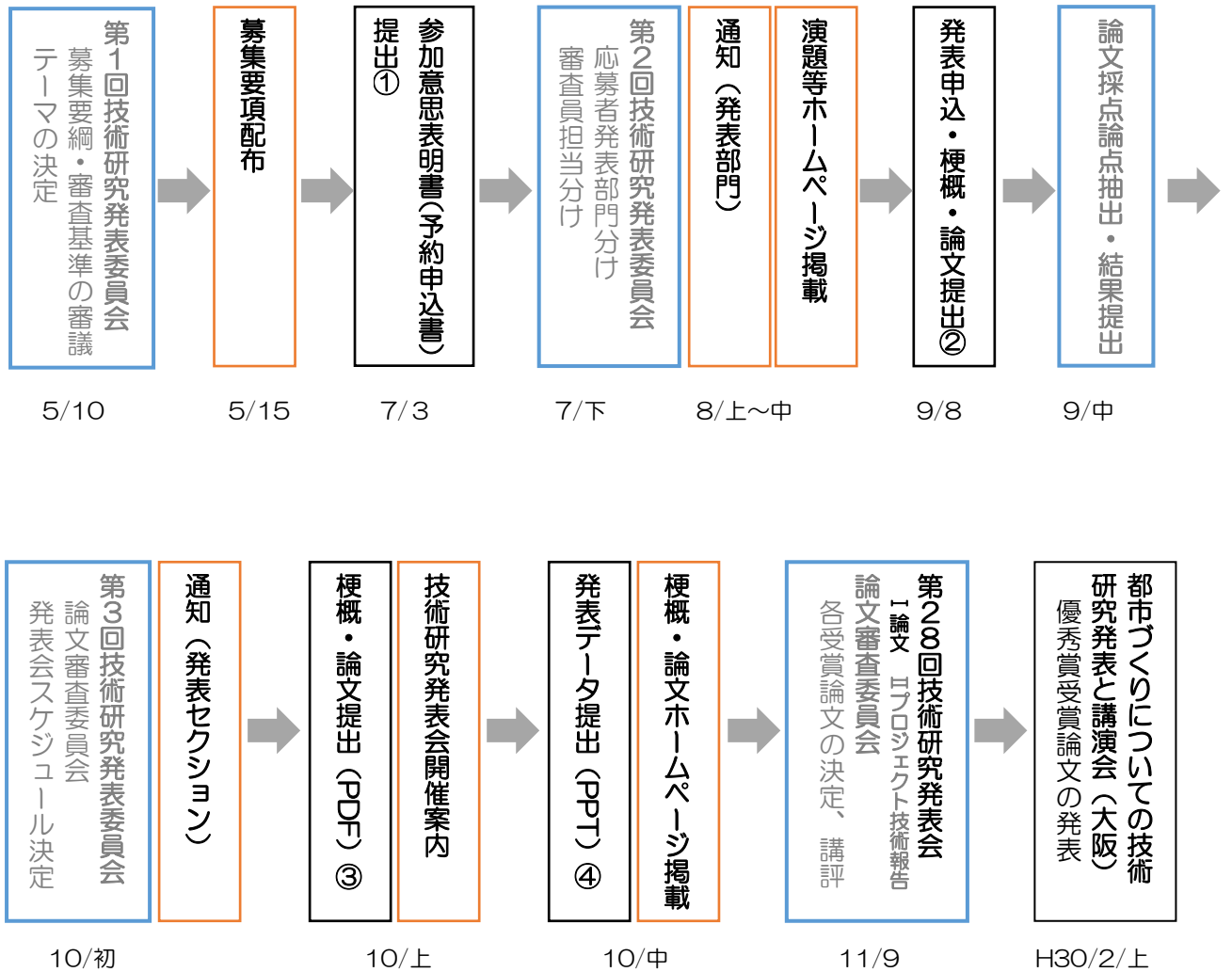
- (1) 日程・会場 2017年11月9日(木)13時15分～  
丸ビルコンファレンススクエア 8階(東京都千代田区丸の内2丁目4-1)
- (2) 発表方法
  - ① 発表時間は1題あたり15分以内質疑応答5分
  - ② マルチメディアプレゼンテーションを使用出来ますが、発表用資料は見やすいように、図、表、写真類の使用、文字の大きさ等を工夫して下さい。  
プロジェクターおよびパソコンは会場に用意します。(パソコンは各自持参可)  
基本的に動画も使用できます。(保存形式は事務局へご確認ください)
  - ③ 配布資料がある場合は30～50部持参して下さい。

### 8. ホームページへの掲載

発表したプロジェクト・技術報告の「タイトル」、「概要」(申込書の「タイトル」、「報告の内容」に記載された内容)は、当推進機構のホームページに公開いたします。

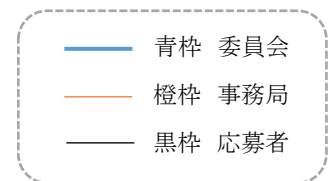
<第29回技術研究発表会>

(1) 応募者手順フロー【I論文】



提出の流れ

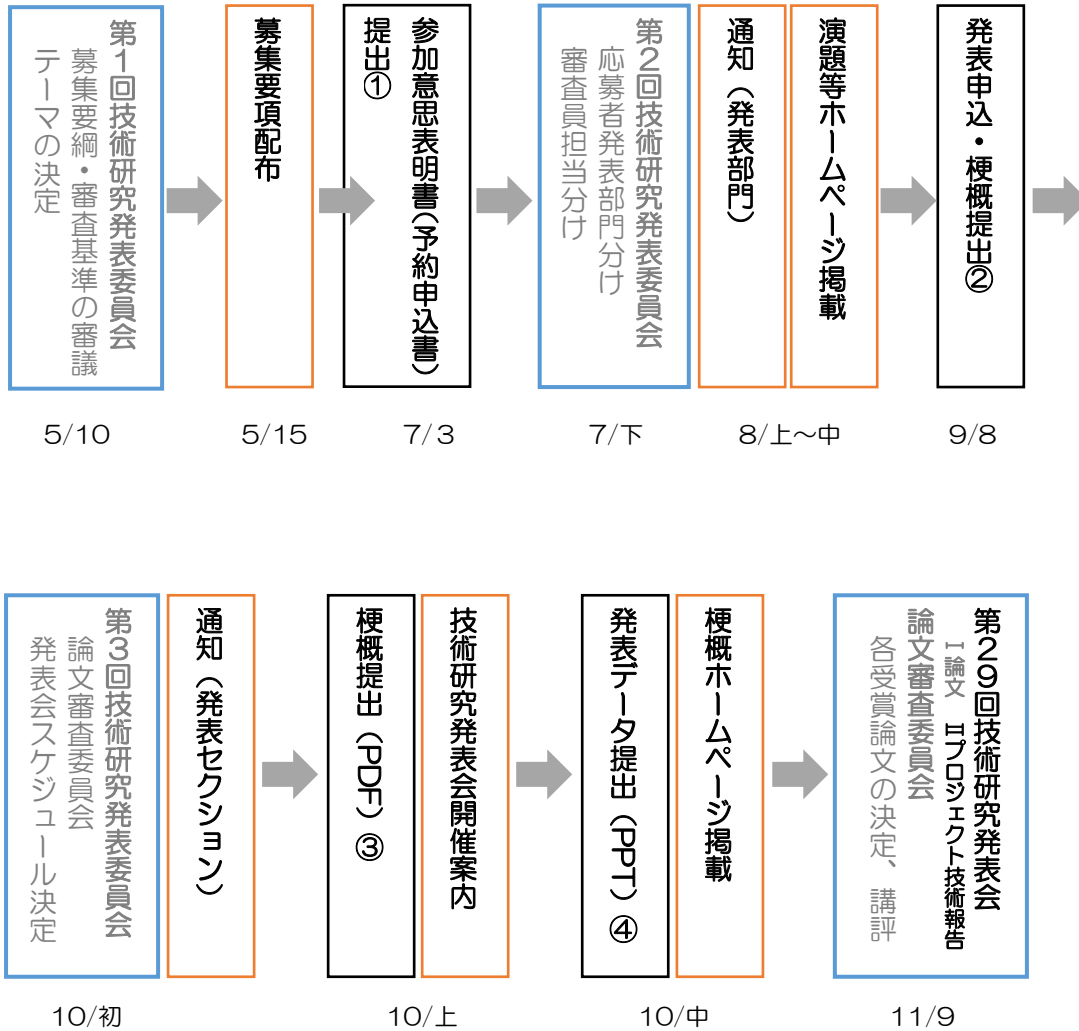
①予約申込書 ②発表申込書・梗概・論文 ③梗概・論文 PDF データ ④発表 PPT データ





<第29回技術研究発表会>

(2) 応募者手順フロー【IIプロジェクト・技術報告】



提出の流れ

- ①予約申込書 ②発表申込書・梗概 ③梗概 PDF データ ④発表 PPT データ

